資料１

傷ついた大型サンゴ類にかかる
今後の対応等について

令和６年７月

沖 縄 防 衛 局

傷ついた大型サンゴ類にかかる今後の対応等について

１．概要

◆ ７月４日、大型サンゴ類（No.2）の移築の準備作業のため潜水を開始したところ、当該サンゴ類において、杭打ち試験の作業船のアンカーチェーンが接触した際に生じたと思われる傷を発見。

◆ 当該アンカーチェーンは、既に当該サンゴ類から十分な離隔距離を確保した地点に移設。

◆ 当該傷について、サンゴ類の専門家を含む委員のご意見を添えて、同日、沖縄県に対して連絡済み。

２．原因

◆ 当該アンカーの設置時に、設置する位置が予定していた位置からずれたため、アンカーチェーンを展張した際に当該サンゴ類に接触。

３．再発防止策

◆ 本事業に係るすべての海上工事の受注者に対し、作業船のアンカーを設置する際は、アンカー位置と移植・移築対象サンゴ類の座標位置を必ず確認すること、移植・移築対象サンゴ類の生息位置との間により十分な離隔距離を確保することなどを改めて周知・徹底。

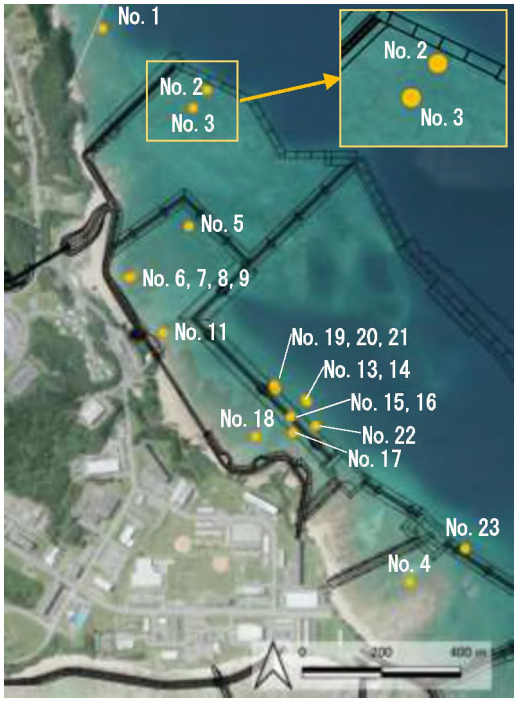
４．対応

当局として以下のとおり対応したい。

◆ 今般の傷の原因をすでに確認し、再発防止策を講じているため、
今後準備ができ次第、予定していた移築方法によりNo.2の移築を開始する。

◆ 損傷箇所の移築後の回復状況については、移築後モニタリングにより経過を観察していく方針。

◆ なお、本件により発生したサンゴ片は損傷箇所に戻さず、移築先の海底面に据付。



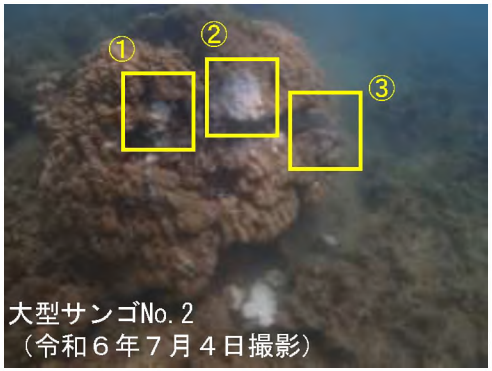
移築対象の大型サンゴ類の位置

理由

- サンゴ類への影響はそれほど大きくないと思われ、予定していた移築方法（※）で作業を進めることに支障は見当たらないこと。
- 損傷の程度から、当該サンゴ類は回復する可能性が十分あると考えられること。

※ 第4回委員会資料４、第26回委員会資料２等により報告済み。当該サンゴ類については、元々の形状・大きさ等により運搬中に崩れる可能性がある場合には不測の損傷を回避する等の観点から移植元において分割して採取することを予定していたもの。

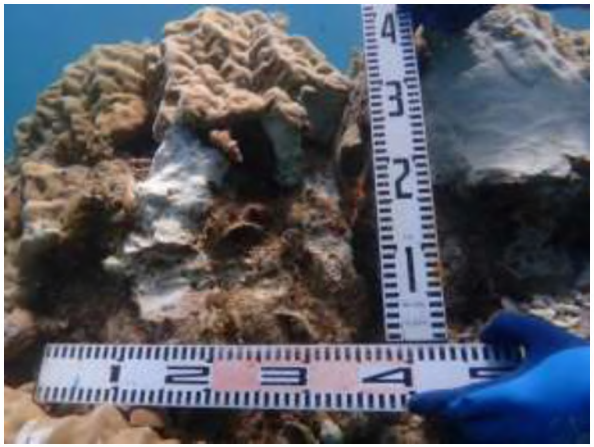
大型サンゴ類の一部損傷の状況

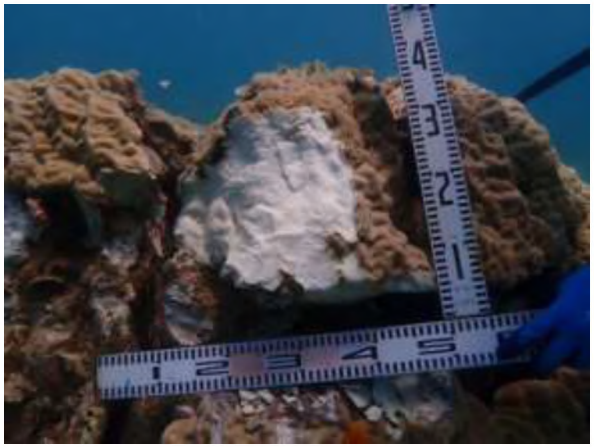


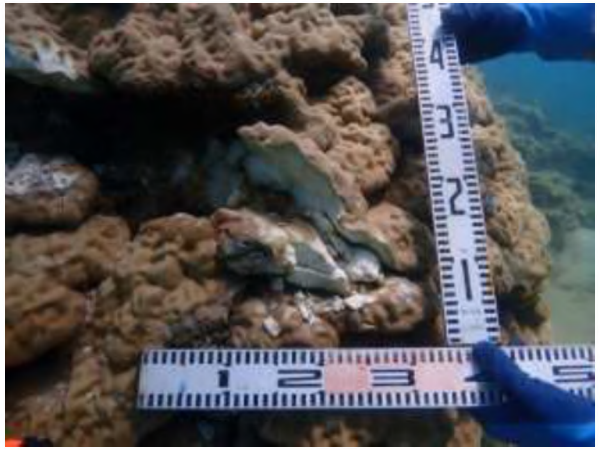
大型サンゴNo.２
（令和６年７月４日撮影）

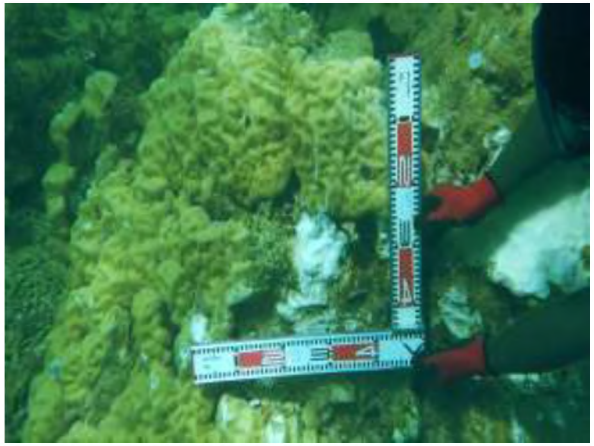
大型サンゴNo.２
（令和６年７月11日撮影）

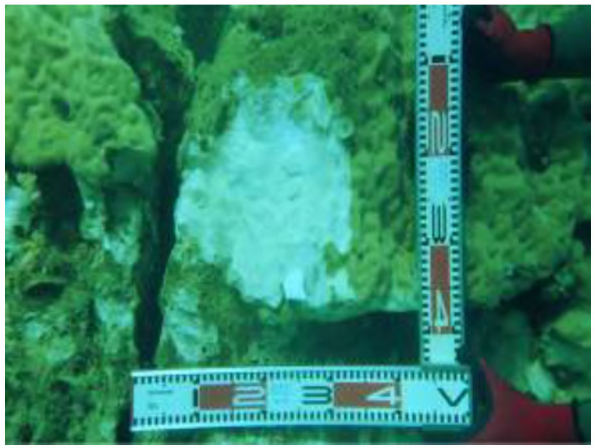
大型サンゴNo.２
（第39回委員会資料３より）

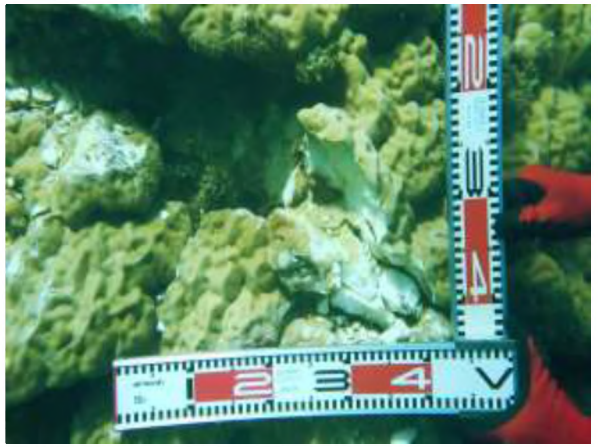

損傷部拡大写真①（令和６年７月８日撮影）


損傷部拡大写真②（令和６年７月８日撮影）


損傷部拡大写真③（令和６年７月８日撮影）


損傷部拡大写真①（令和６年７月11日撮影）


損傷部拡大写真②（令和６年７月11日撮影）


損傷部拡大写真③（令和６年７月11日撮影）